

じめじめとした蒸し暑い日が続いていますが本格的な夏がもうすぐはじまりそうです。

先月は乳児クラス（主に0歳児1歳児クラス）で手足口病とヘルパンギーナの感染症が流行し、幼児クラスでも発熱するお友だちが多かったです。今回は特に長引く熱や発熱後咳が出る症状が多かったです。夏風邪も流行する時期なので引き続き体調には注意していきましょう。感染症は、手足口病8名、ヘルパンギーナ3名、突発性発疹1名でした。

気をつけたい夏風邪

ウイルス感染によって起こる病気です。
他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

ヘルパンギーナ

高い熱が数日続く。
口の中、のどに白っぽい水ぶくれが出来る。



プール熱（咽頭結膜熱）

高い熱が数日続くことがある
のどが痛む
白目の充血、瞼の腫れ、涙や目やにがでる



手足口病

口の中のポツポツが痛むため、飲んだり
食べたりすることを嫌がる
手のひらや足の裏にポツポツが出来る



流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出
ます。周りの人への感染源となるので、タオルは
共有しないようにしましょう。

※夏風邪はどれも特効薬はありません。

休息が一番の薬です😊高熱が続いたり食事が摂れないときには脱水にも注意していきましょう。

歯科健診の結果



6月5日に歯科健診がありました。
54名が受診しました。
全体の結果は
虫歯 4名
初期虫歯（虫歯になる手前）9名
歯垢が残っている園児が13名
歯肉炎が3名
歯石付着が3名でした。
朝の忙しい中歯磨きのご協力ありがとうございました。
今回健診が終わった後も引き続き保護者の方が
仕上げ磨きをしっかり行ってください。
受診が必要なお子さんは早めに歯科を受診し治療
を受けるようにしましょう。
また受診の必要がないお子様もかかりつけの歯医
者をもつことがおすすめです。
定期的に受診することで予防やむし歯の早期発見に
つながり、子ども自身も慣れることで歯医者さん
にも嫌がらずに通院できるようになりますので
ぜひ受診するようにしましょう。

あせもを防ぎましょう

あせもは、おでこやひじ、首の周りな
ど、汗がたまりやすく、皮膚がこすれ
る場所にできます。アトピー性皮膚炎
のある子は、症状が悪化することあ
るので注意しましょう。

あせもを作らない ③つのポイント

- ① 薄着が基本
- ② 吸湿性のよい木綿の肌着を着る
- ③ 汗をかいたら着替える、タオルでふく、シャワーで流すなどして、常に肌を清潔に

水遊びが始まっている中、全身すっぽんぽんのままでいるお友だちを目にすることもあります。

そのような中で今回はプライベートパーツについてお話ししました。

身体の大事なところは口と水着で隠れる場所で自分だけが触ってもいいところ。

人の前で見せたり触ったり触らせたりしてもいけないところ。

また防犯対策としても大切で、知らない人に見せない、触らせない、秘密にしない、嫌なことをされそうになったら「ダメ！イヤ！」と言って逃げることを伝えています。

性教育はなかなか話題にはしづらい内容ですが、今回子どもたちに読み聞かせした絵本は導入する内容としておすすめです。お家で読んだことがある！というお友だちもいたので機会があったらぜひ読んでみて下さい。



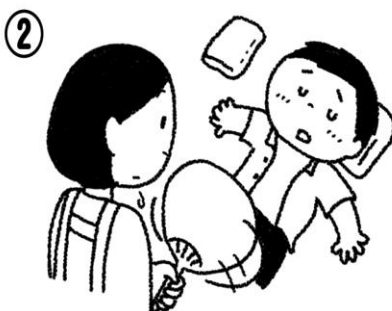
「熱中症？」そのときに

子どもたちが大好きな夏ですが、熱中症には注意を。子どもに異変があったら、すぐに手当てをして重症化を防ぎましょう。



① 涼しい場所に移動する

風通しのよい日陰や涼しい室内に運んで寝かせ、服のボタンやベルトを外す。



② 体を冷やす

ぬらしたタオルで体をふき、うちわや扇風機の風を当てて体にこもった熱を逃がす。



③ 水分を少しずつ与える

麦茶や子ども用のイオン飲料などをひと口ずつ与える。一度に飲ませず、様子を見ながら。

- ☐ 冷やしたタオル
- ☐ タオルに包んだ保冷剤
- ☐ 冷えた缶ジュース

などを挟んで冷やすと効果的



39℃以上の発熱があり、ぐったりして意識がないときは救急車を呼びます